

加法, 減法 (3)**項**

加法と減法の混じった式を、加法だけの式になおしたとき、その式の中の一つ一つの数のことを、その式の項といいます。

加法だけの式は、かっこと記号+をはぶいて、項だけを並べることであらわすことができます。

$$\begin{aligned} \text{例) } & (+3) - (+7) \\ & = (+3) + (-7) \\ & = +3 - 7 \end{aligned}$$

加法と減法の混じった式の計算方法

加法と減法の混じった式を計算するには、まず加法だけの式になおしてから、正の項どうし、負の項どうしを先に計算します。

$$\begin{aligned} \text{例) } & (+3) - (+2) - (-7) + (-1) \\ & = (+3) + (-2) + (+7) + (-1) \\ & = +3 - 2 + 7 - 1 \\ & = +3 + 7 - 2 - 1 \\ & = +10 - 3 \\ & = +7 \end{aligned}$$

【1】 次の式の項を答えなさい。

(1) $-17 + 1 + 13 - 8$

(2) $2 - 5 + 3 + 9 - 11$

答え (1)

(2)

【2】 次の式を計算しなさい。

(1) $+6 - 2$

(2) $-7 + 15$

(3) $(-3) + (+2) - (+5)$

(4) $(-5) + (+9) - (+8) - (+12)$